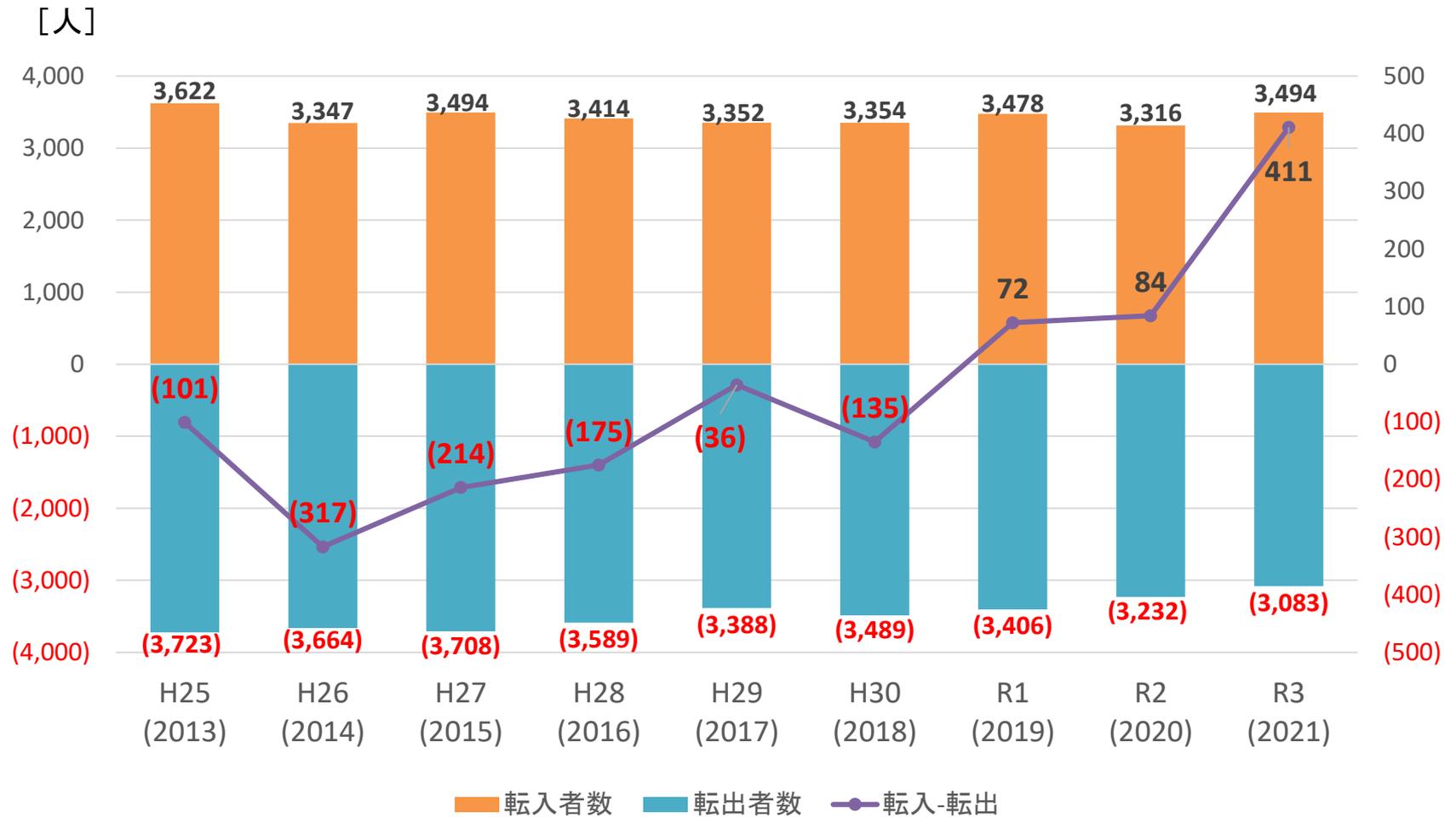


令和3年 転入転出の状況について

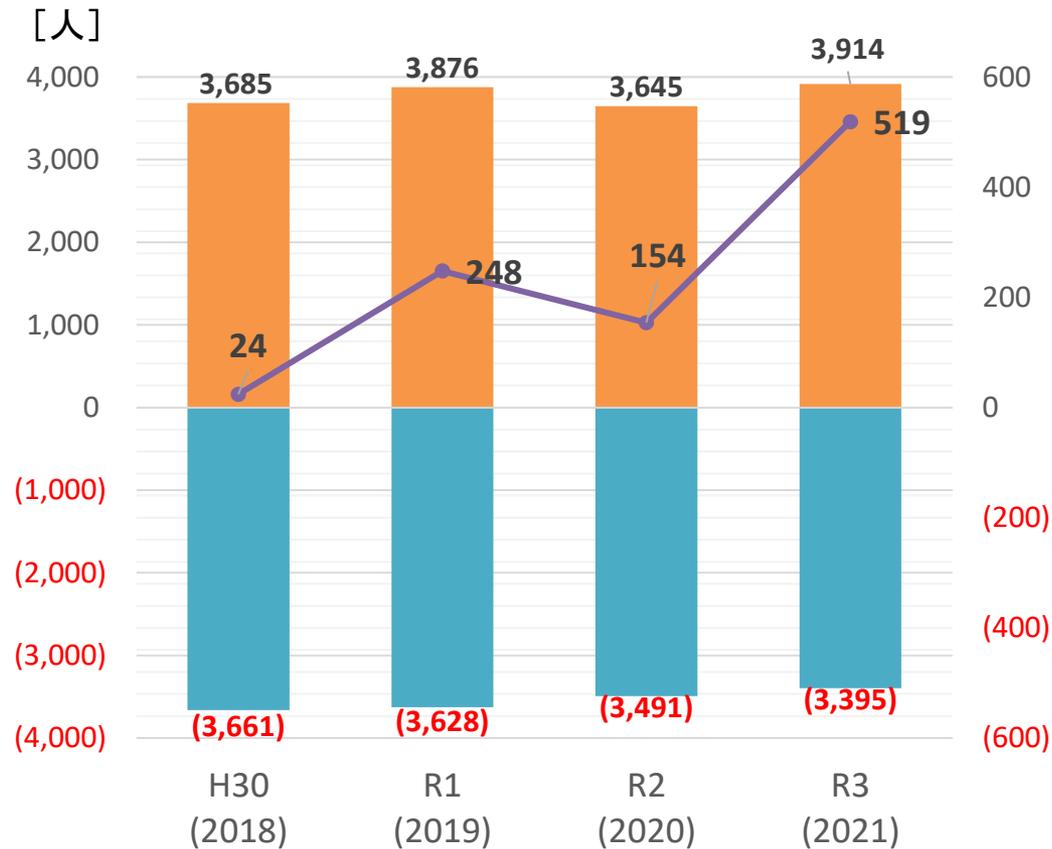
出典:住民基本台帳人口移動報告

那須塩原市 転入者・転出者数の推移(日本人のみ)



市内の社会増減は、R1(2019)年以降転入超過となっている。

那須塩原市 転入者・転出者数の推移(外国人含む)

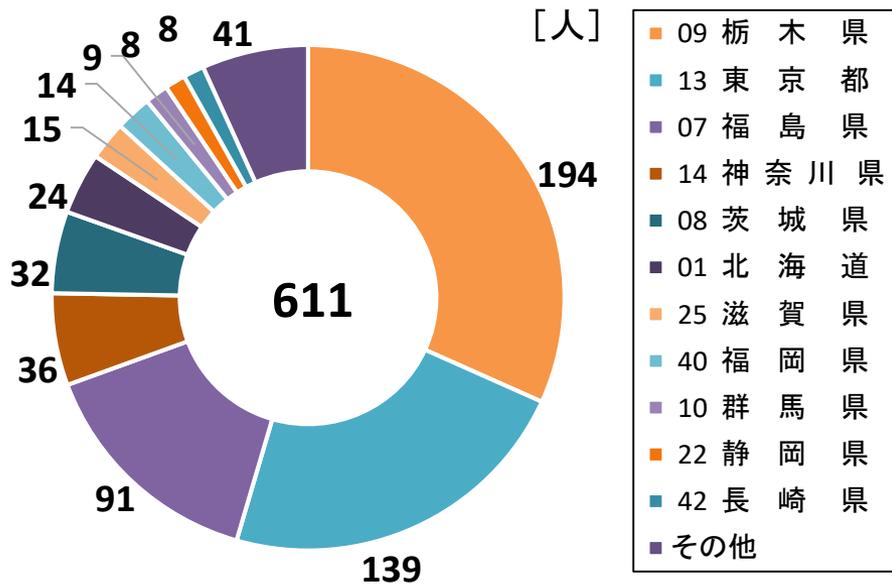


外国人を含めた全体では、H30(2018)年から転入超過に転じている。

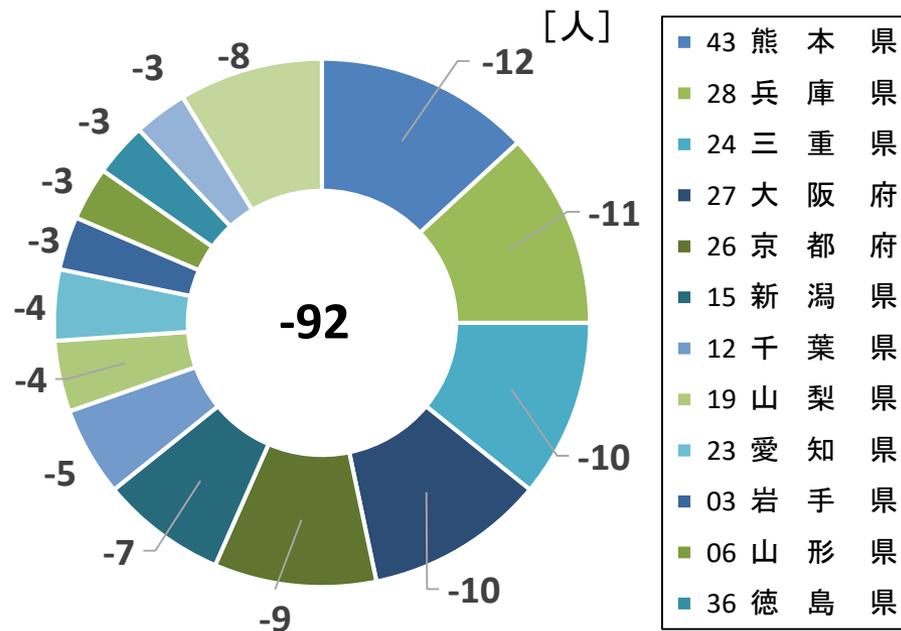
* 住民基本台帳人口移動報告は、H29(2017)までは日本人のみで集計、H30(2018)以降は外国人を含んで集計

那須塩原市：都道府県別転入超過数・転出超過数の内訳

転入超過数内訳



転出超過数内訳



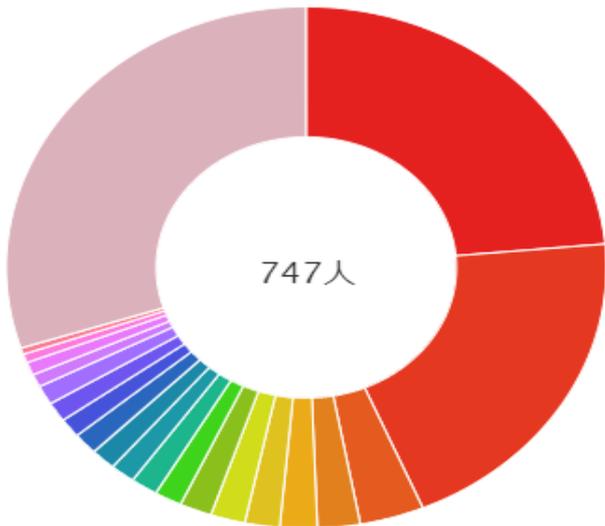
転入超過数・・・29の都道県で転入超過(±0含む)。最多は県内、次いで東京都。

転出超過数・・・18の府県で転出超過。熊本県の12名が最多。

那須塩原市：市町村別転入超過数・転出超過数の内訳

転入超過数内訳

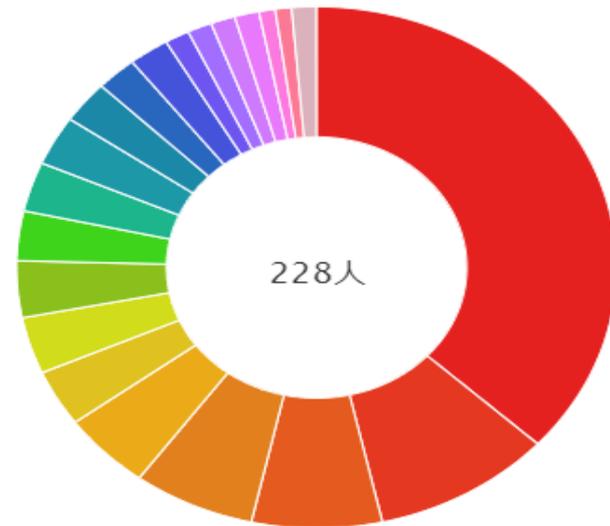
総数



- 1位 栃木県大田原市 176人 (23.56%)
- 2位 栃木県那須町 150人 (20.08%)
- 3位 神奈川県横浜市 26人 (3.48%)
- 4位 栃木県栃木市 17人 (2.28%)
- 5位 福島県白河市 15人 (2.01%)
- 6位 栃木県日光市 14人 (1.87%)
- 6位 福島県郡山市 14人 (1.87%)
- 8位 千葉県千葉市 13人 (1.74%)
- 9位 東京都江戸川区 11人 (1.47%)
- 9位 東京都練馬区 11人 (1.47%)

転出超過数内訳

総数



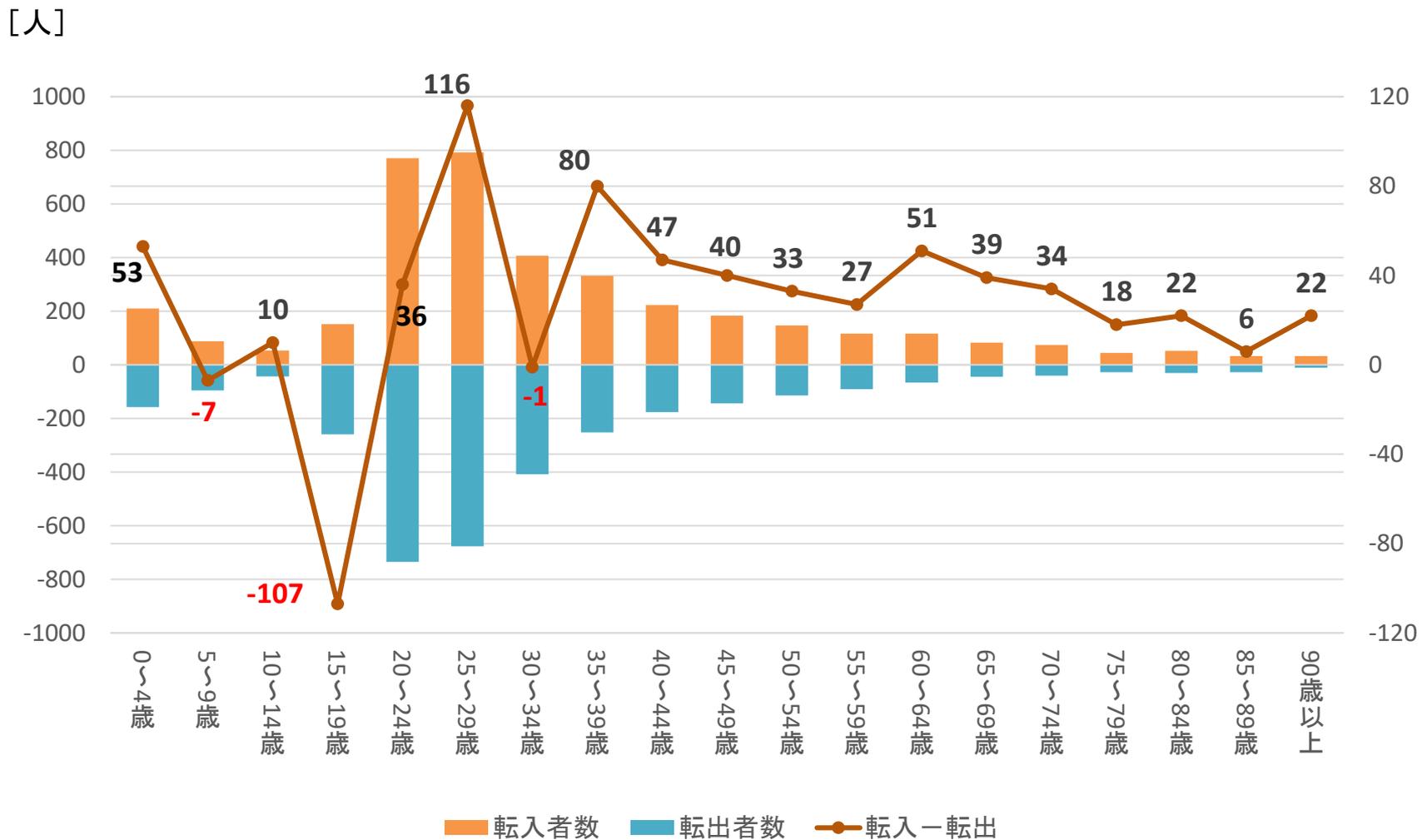
- 1位 栃木県宇都宮市 84人 (36.84%)
- 2位 栃木県さくら市 22人 (9.65%)
- 3位 栃木県真岡市 16人 (7.02%)
- 4位 栃木県鹿沼市 15人 (6.58%)
- 5位 千葉県市川市 11人 (4.82%)
- 6位 埼玉県川口市 8人 (3.51%)
- 6位 栃木県高根沢町 8人 (3.51%)
- 6位 栃木県佐野市 8人 (3.51%)
- 9位 東京都板橋区 7人 (3.07%)
- 9位 栃木県矢板市 7人 (3.07%)

出典：REASAS



転入超過数・・・約半数が近隣市町。
 転出超過数・・・県内の県央・県南地区が7割。

那須塩原市：年齢階級別転入者・転出者数(全体)



10代を除く全ての年代において、転入超過となっている。

※ 新型コロナウイルス感染症の流行による人流抑制が影響しているものと推察される。